

もずくを一斗缶に詰める作業を効率化したい！

PROBLEM

課題

今回、あるもずく製造工場様から「もずくを一斗缶に詰める作業の効率を上げたい」とのご相談を頂きました。作業工程としましては、1. もずくを一斗缶に詰める。2. 一斗缶にバンドを十字に掛ける。3. 賞味期限等を一斗缶に印字する。という一連の工程でした。また、今回のポイントとしまして、これまで人の手で作業していた工程の中に、自動化できる作業工程を見つけ、作業を自動化するシステムの導入が検討されました。

SOLUTION

改善

お客様のご相談を受け、まずはじめに、どの工程を自動化するのを見つけました。まず、一番初めの作業である「もずくを一斗缶に詰め込む作業」に関しては、海から揚げたばかりのもずくを詰め込むため、付着したゴミを取り除く作業がありました。そのため、もずくの詰め込み作業は手動で行うことになりました。しかし、詰め込み以外の工程は全て自動化することが可能であったため、詰め込み作業の後の、もずくの重量を測る作業、一斗缶にバンドを掛ける作業、賞味期限等を一斗缶に印字する作業を自動ラインで行えるシステムを導入いたしました。



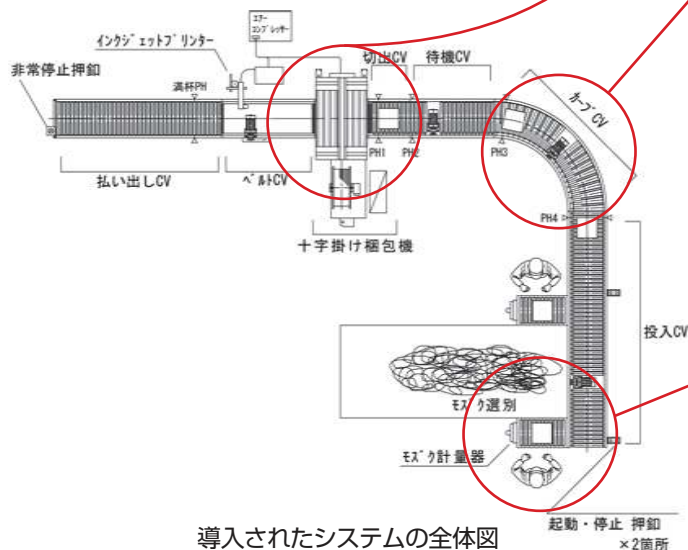
○十字掛け梱包機

詰め込み済みの一斗缶に十字架にバンドをかけ、梱包するための装置です。



○カーブCV

曲線系のラインを組むことで、限られた作業スペースを有効活用することができます。



導入されたシステムの全体図



○もずく計量器

ある一定の重量になった一斗缶を手動でラインに流す装置です。